

セキュアインターネットゲートウェイ “Cisco Umbrella”

ユーザガイド

[ご利用ユーザさま向け]

2024年8月29日 Version 1.1

ソニービズネットワークス株式会社

著作権情報

本ドキュメントは、著作権法で保護された著作物で、その全部または一部を許可なく複製したり複製物を配布したり、あるいは他のコンピュータ用に変換したり、他の言語に翻訳すると、著作権の侵害となります。

ご注意

予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。また、本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

商標表示

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

改定履歴

| Version | リリース日 | 改訂内容 |
|---------|------------|--|
| 1.0 | 2023年8月29日 | 初版リリース |
| 1.1 | 2024年8月29日 | <ul style="list-style-type: none">AnyConnect クライアントソフトウェアの更新に伴い、以下の項目で、一部画像の差し替えを行ないました。<ul style="list-style-type: none">「3 Windows OS (Windows 10)」の一部画像を差し替えました。「4 Mac OS (Mac13)」の一部画像を差し替えました。 |
| | | |

Version ナンバー変更ガイドライン

誤字脱字の修正、文書・図・表の差し替えなど手順の変更がない場合：例 Ver 1.0 ⇒ Ver 1.1

サービスのバージョンアップ、仕様変更に伴う手順の変更がある場合：例 Ver 1.0 ⇒ Ver 2.0

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1.. はじめに | 5 |
| 2.. ご利用までの流れ | 6 |
| 3.. Windows OS (Windows 10) | 7 |
| 3-1 クライアントソフトウェアのダウンロード | 7 |
| 3-2 クライアントソフトウェアのインストール | 8 |
| 3-3 Umbrella モジュールの有効化 | 11 |
| 3-4 DART ファイル取得 | 14 |
| 4.. macOS (バージョン 13) | 17 |
| 4-1 クライアントソフトウェアのダウンロード | 17 |
| 4-2 クライアントソフトウェアのインストール | 18 |
| 4-3 Umbrella モジュールの有効化 | 25 |
| 4-4 DART ファイル取得 | 28 |

1 はじめに

このたびは、セキュアインターネットゲートウェイ“Cisco Umbrella”をご契約いただき、ありがとうございます。

セキュアインターネットゲートウェイ“Cisco Umbrella”は、複数のセキュリティサービスを単一のクラウドベースのプラットフォームに統合することでインターネットへのアクセスを保護しネットワーク、ブランチオフィス、ローミングユーザによるクラウドアプリケーションの使用を管理するクラウドセキュリティプラットフォームです。

セキュアインターネットゲートウェイ“Cisco Umbrella”は、ご利用までに管理者さま、ご利用者さま（クライアント端末設定担当者さま）にて設定が必要となり、それぞれ以下のマニュアル用意しております。

本マニュアルでは、ユーザさま向け手順を記載しております。

| 設定内容 | マニュアル名 |
|-------------------------|------------------------------|
| 全体共通設定 (管理者さま向け) | クイックガイド |
| クライアント端末設定 (ユーザさま向け) | ユーザガイド ※本資料 |

重要

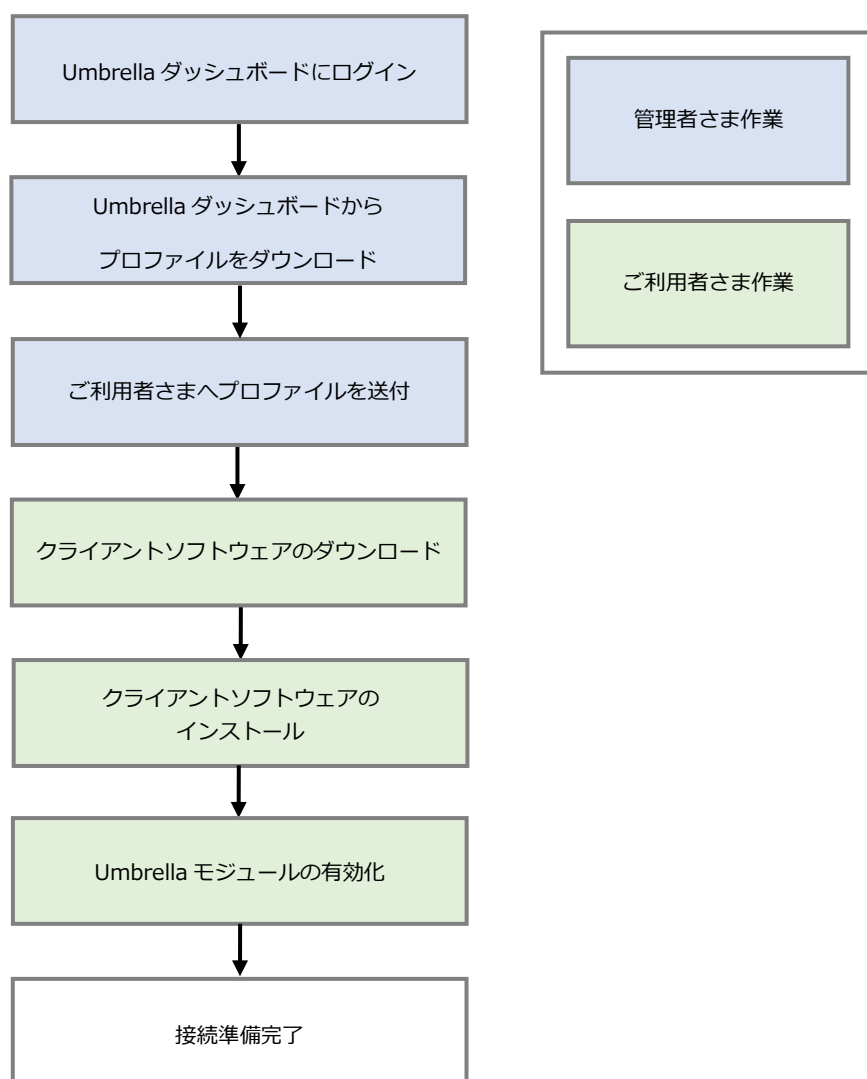
- サービスをご利用いただくためには、本マニュアル以外に管理者さまの設定が必要です。必要に応じて管理者さまへご確認ください。

2 ご利用までの流れ

セキュアインターネットゲートウェイ“Cisco Umbrella”をご利用までに管理者さま、ご利用者さま（クライアント端末設定担当者さま）にてそれぞれ以下の作業が必要となります。

本マニュアルは「ご利用者さま作業」の詳細手順を記載されています。

「管理者さま作業」につきましては、管理者さまの作業となりますので必要に応じて管理者さまへご確認ください。



3 Windows OS (Windows 10)

Windows 10にてご利用いただくには、以下の手順で行ってください。

※「[2 ご利用までの流れ](#)」の「ご利用者さま作業」に該当する作業となります。

重要

- 本作業はご利用端末の管理者権限で行う必要があります。
- クライアントソフトウェアは下記手順に記載されております弊社サポートサイトでダウンロードしたソフトウェアをご利用ください。

3-1 クライアントソフトウェアのダウンロード

以下のお客さまサポートサイトよりソフトウェアをダウンロードします。

URL : <https://www.bit-drive.ne.jp/support/technical/cisco-umbrella/>

| ソフトウェア名 | ファイル名 |
|------------|---|
| セキュアクライアント | cisco-secure-client-win-x.x.xxxxx-core-vpn-predeploy-k9.msi |

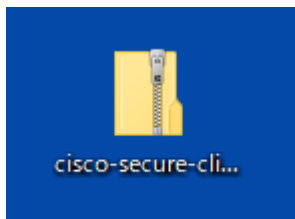
※上記ファイル名の「x.x.x」はバージョン表記となるため随時変更されます

メモ

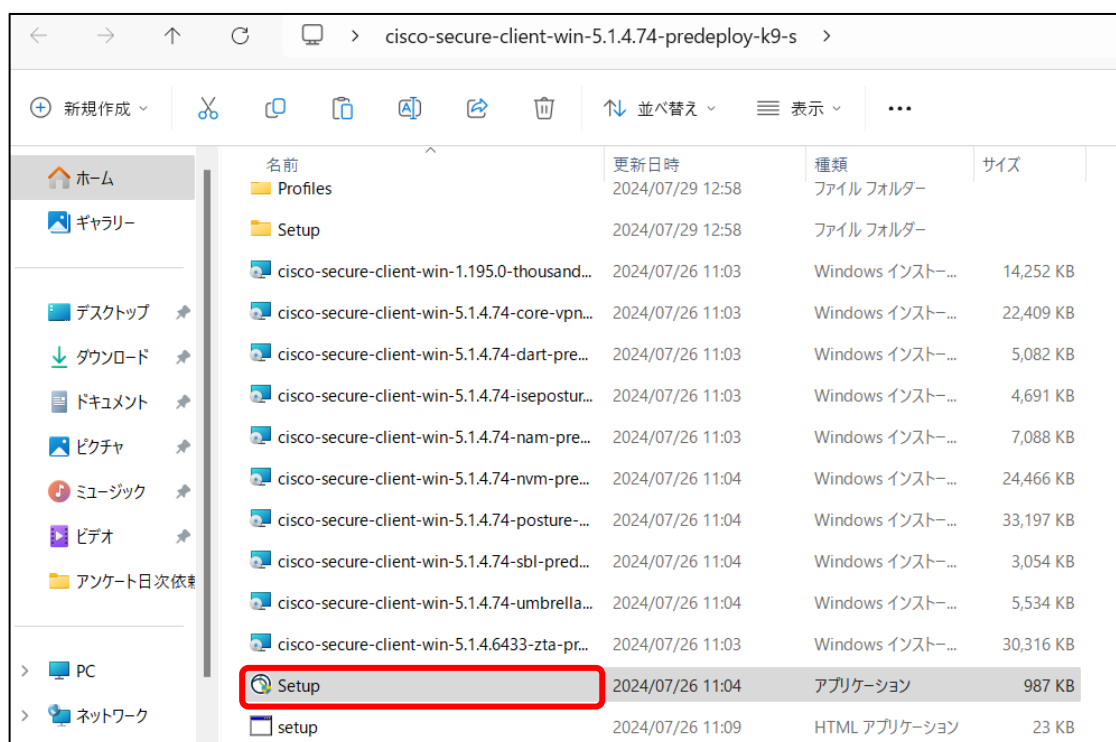
- お客さまサポートサイトでは、弊社で提供している最新バージョンソフトウェアのみ掲載しています。

3-2 クライアントソフトウェアのインストール

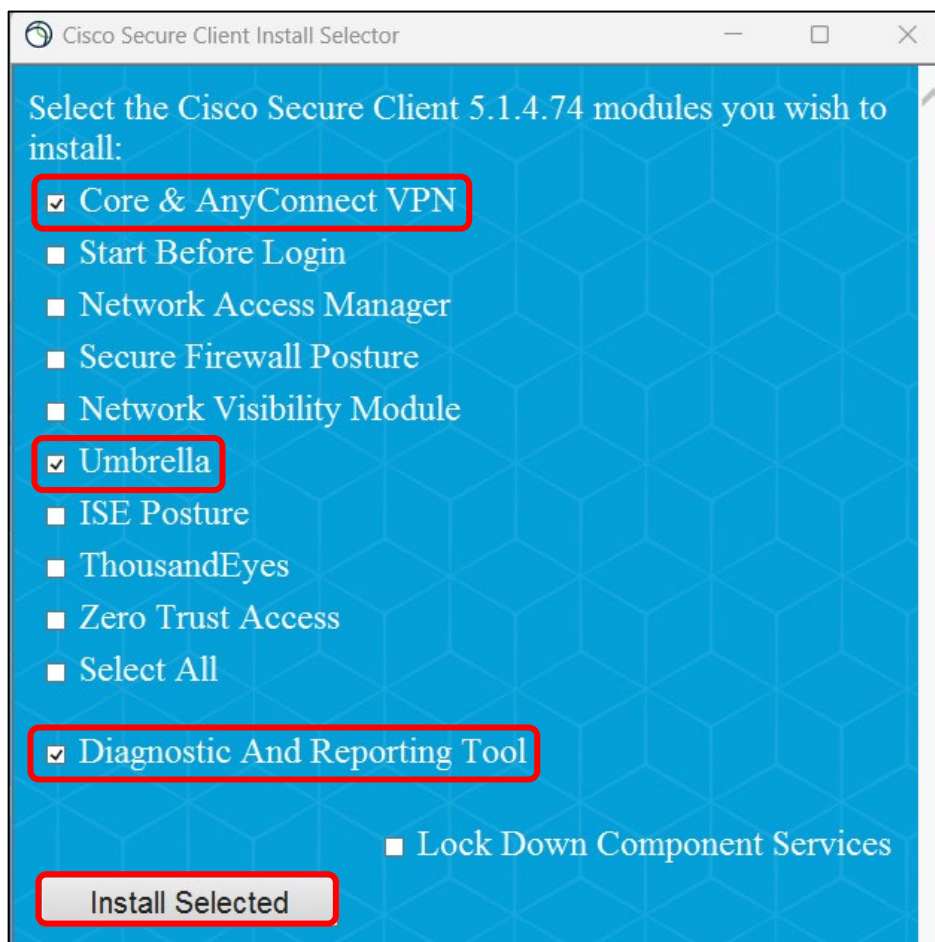
1. ご利用端末の OS に合った上記ソフトウェア（バージョン等は随時変更されます）をダウンロードし、ダブルクリックします。



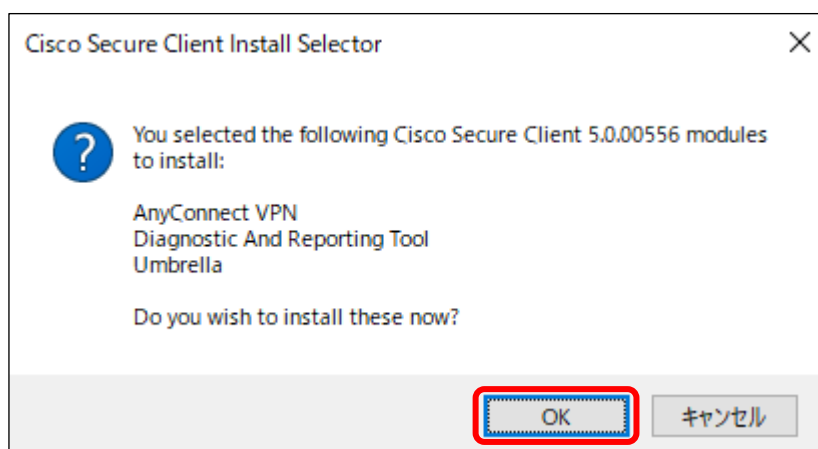
2. 「setup」をダブルクリックして起動します。



3. 「Cisco Secure Client Install Selector」が表示されますので、下記 3 つを選択し、「Install Selected」をクリックします。
- 「Core & AnyConnect VPN」
 - 「Umbrella」
 - 「Diagnostic And Reporting Tool」



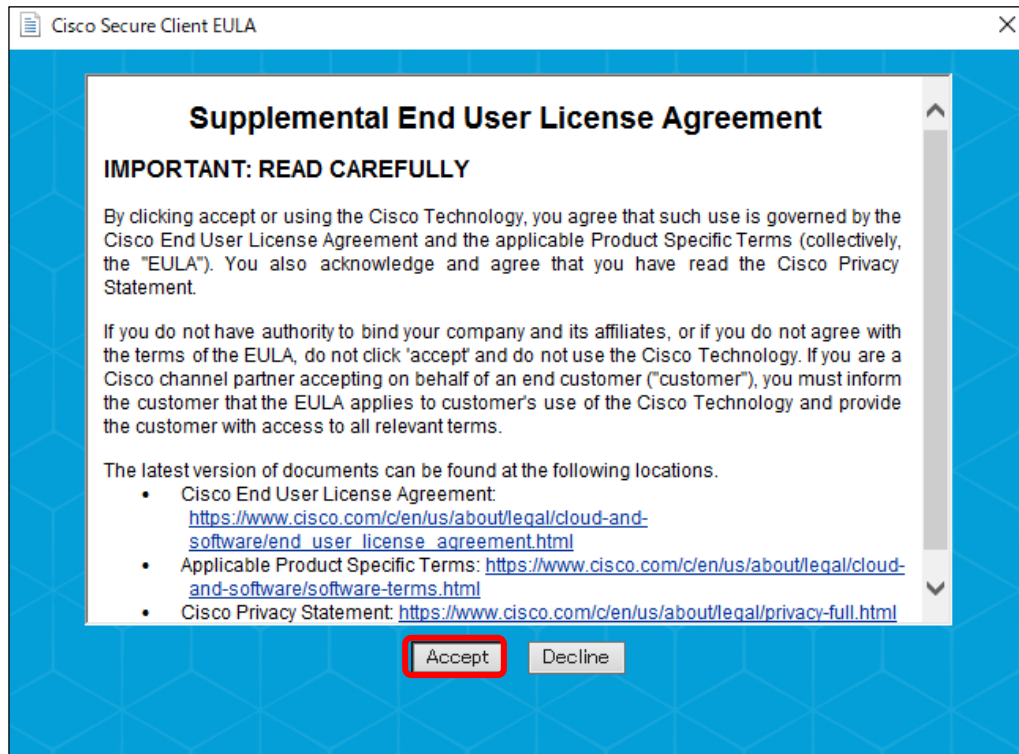
4. 「OK」をクリックします。



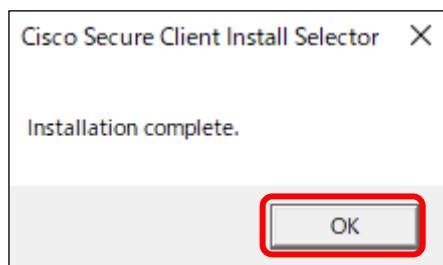
メモ

- ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

5. ソフトウェア利用許諾契約が表示されますので内容を確認し、「Accept」をクリックします。

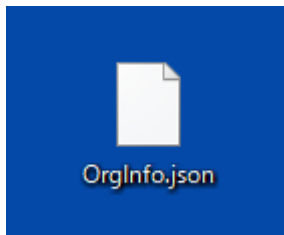


6. 以下の画面が表示されるとインストールは完了です。「OK」をクリックし、ウィンドウを閉じます。



3-3 Umbrella モジュールの有効化

1. 管理者さまの作業が完了すると、管理者さまからプロファイルが共有されます。



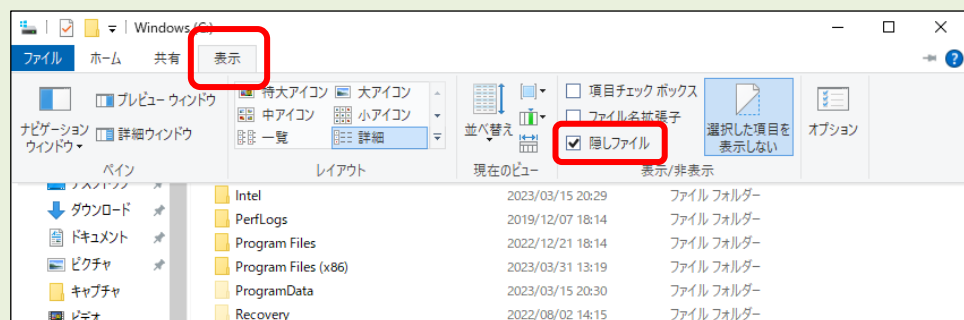
2. ご利用端末のエクスプローラーから以下のフォルダにアクセスします。

C:\ProgramData\Cisco\Cisco AnyConnect Secure Mobility Client\Umbrella

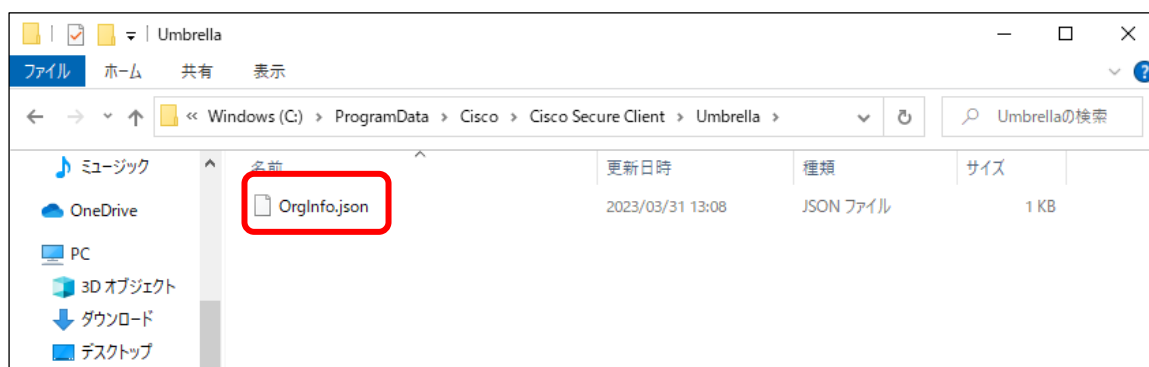


メモ

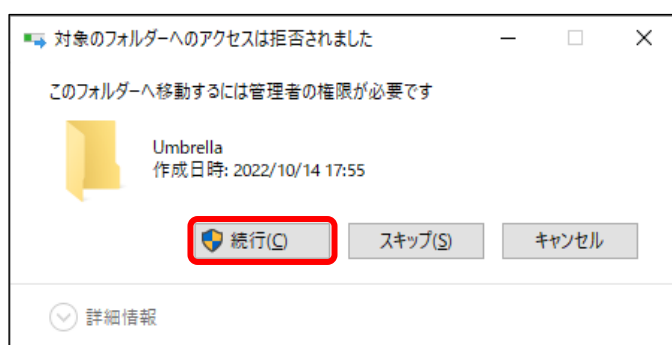
- ProgramData フォルダは隠しファイルとなるため、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェック入れる则表示されます。



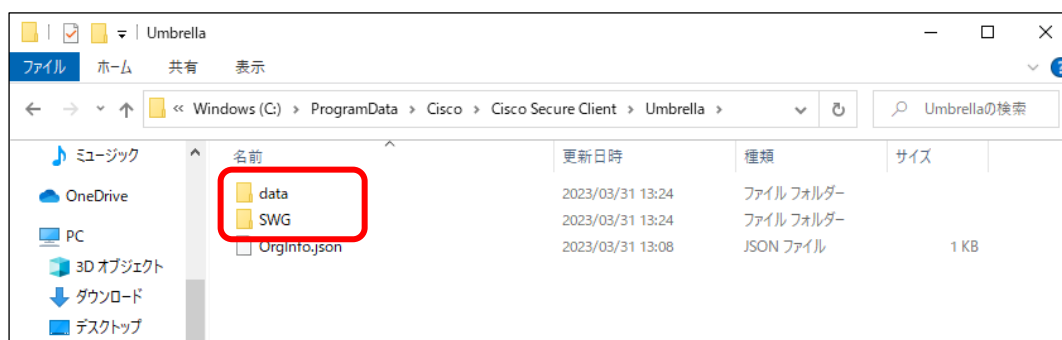
3. 管理者さまから送付されたプロファイルを開いたフォルダに保存します。



4. フォルダへのアクセス許可を求められる場合は、「続行」をクリックします。



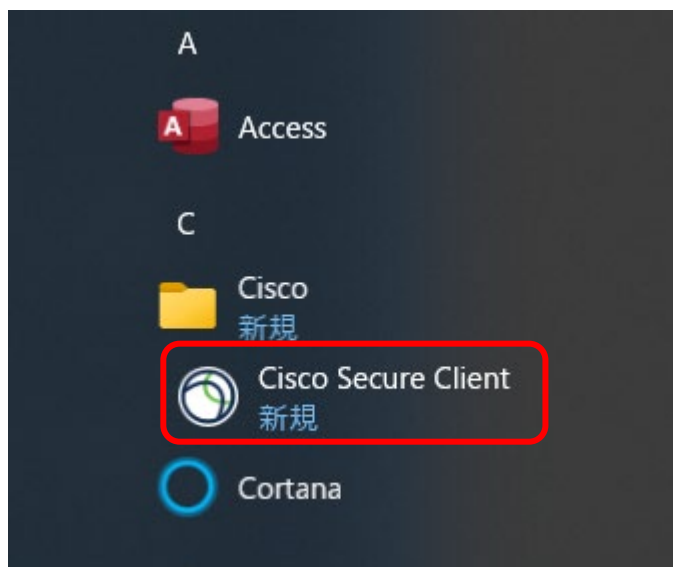
5. プロファイルを保存すると自動的に「data」「SWG」の2つのフォルダが作成されます。



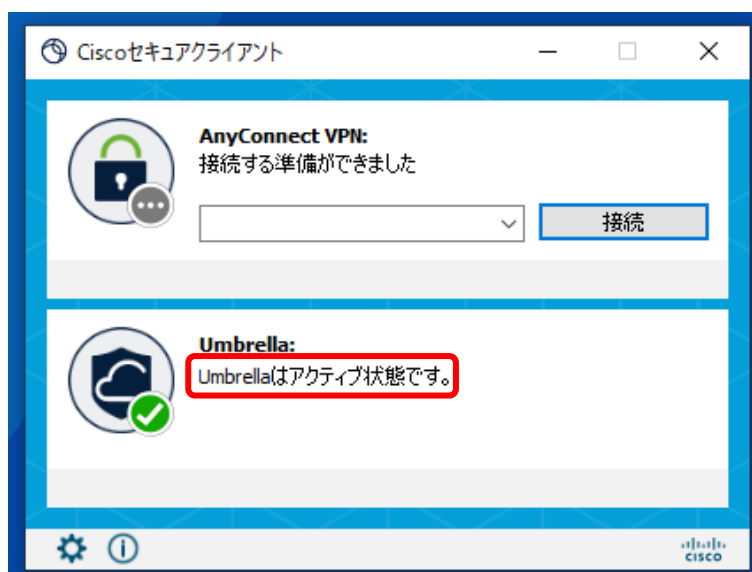
重要

- プロファイル保存後、自動的にフォルダが作成されない場合は保存先が間違っていないか、プロファイルが正しいファイルかご確認ください。

6. Umbrella が有効化されたことを確認するために、「スタート」>「すべてのアプリ」>「Cisco」>「Cisco Secure Client」の順にクリックし、Cisco Secure Client を起動し



7. Umbrella のメッセージに「Umbrella はアクティブ状態です。」と表示されていることを確認します。

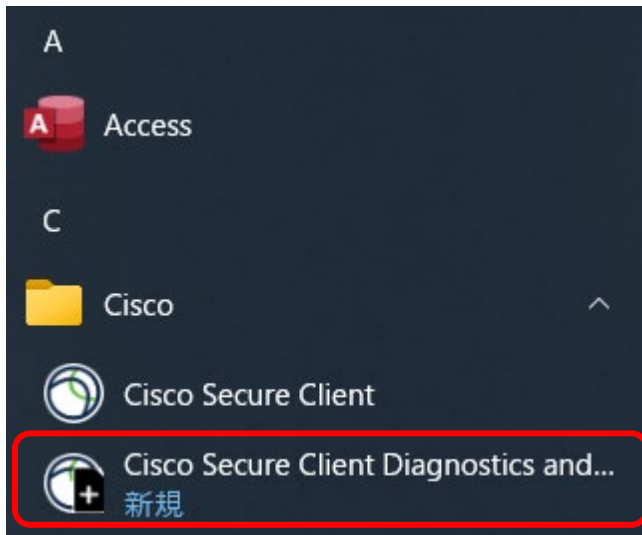


以上で、Umbrella モジュールの有効化は完了です。

3-4 DART ファイル取得

トラブルが発生した際、切り分けのため本手順により取得した DART ファイルをお送りいただく場合があります。

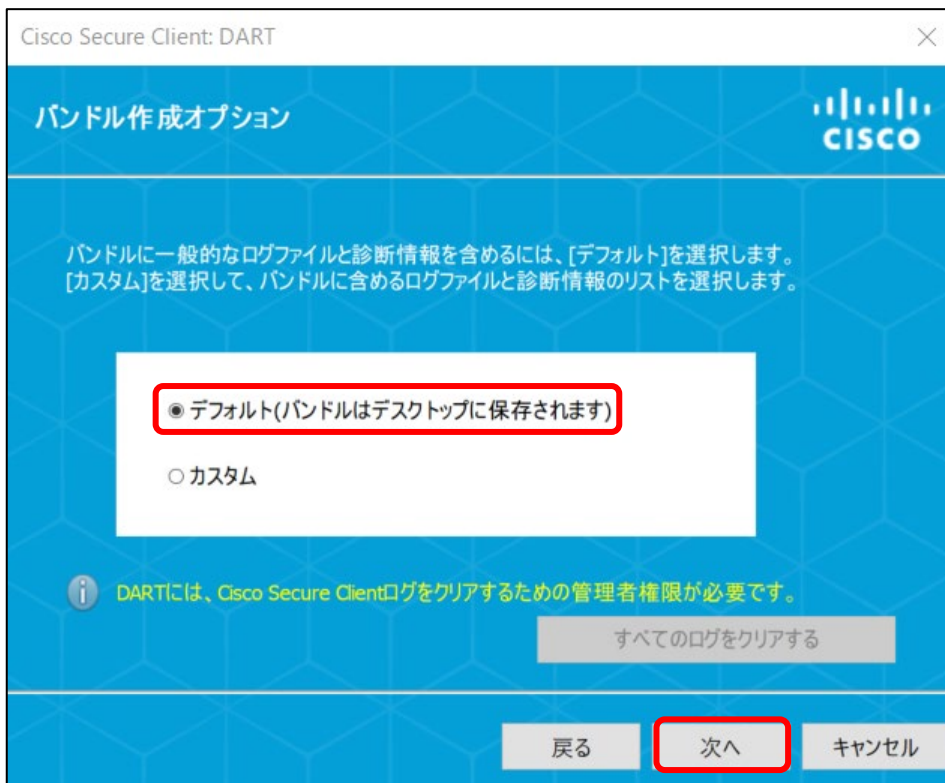
1. 「スタート」 > 「すべてのアプリ」 > 「Cisco」 > 「Cisco AnyConnect Diagnostics and Reporting Tool」をクリックします。



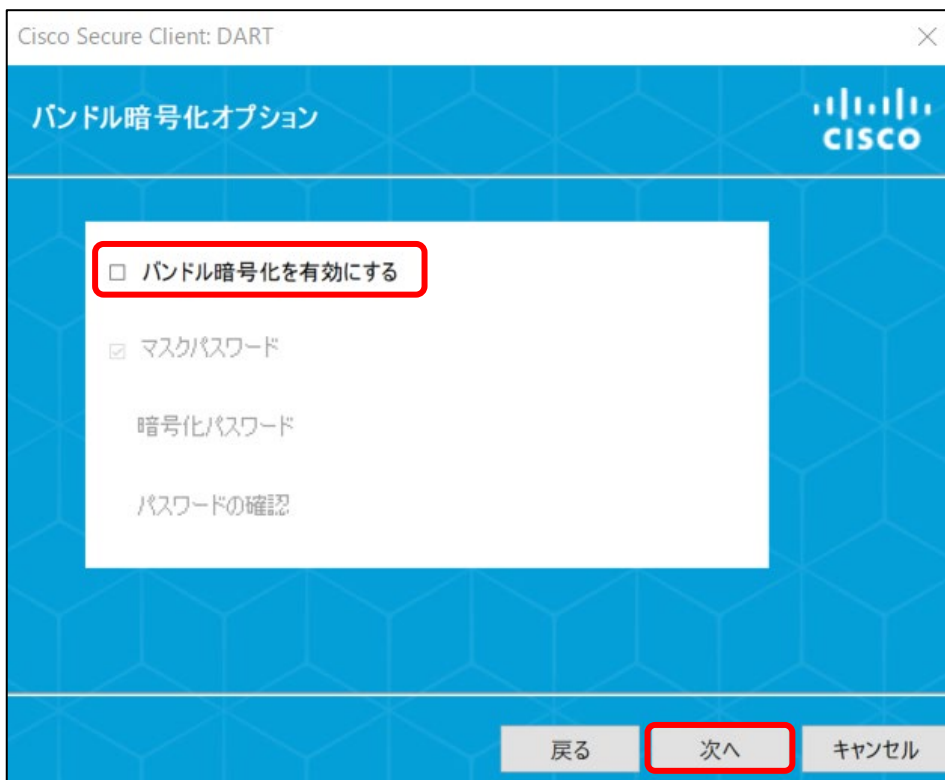
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「デフォルト」が選択されていることを確認のうえ、「次へ」をクリックします。



4. 「バンドル暗号化を有効にする」にチェックが入っていないことを確認のうえ、「次へ」をクリックします。

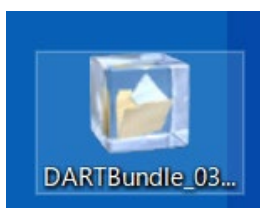


数分待機します。

5. 「完了」をクリックします。



6. デスクトップ上にファイルが作成されます。



以上で、DART ファイル取得は完了です。

4 macOS (バージョン 13)

macOS にてご利用いただくためには、以下の手順で行ってください。

※「[2 ご利用までの流れ](#)」の「ご利用者さま作業」に該当する作業となります。

重要

- 本作業はご利用端末の管理者権限で行う必要があります。
- クライアントソフトウェアは下記手順に記載されております弊社サポートサイトでダウンロードしたソフトウェアをご利用ください。

4-1 クライアントソフトウェアのダウンロード

以下の bit-drive お客さまサポートサイトからソフトウェアをダウンロードします。

URL : <https://www.bit-drive.ne.jp/support/technical/sra/>

| ソフトウェア名 | ファイル名 |
|------------|--|
| セキュアクライアント | cisco-secure-client-macos-x.x.x-core-predeploy -k9.dmg |

※上記ファイル名の「x.x.x」はバージョン表記となるため随時変更されます

メモ

- お客さまサポートサイトでは、弊社で提供している最新バージョンソフトウェアのみ掲載しています。

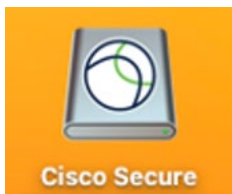
4-2 クライアントソフトウェアのインストール

1. 「cisco-secure-client-macos-x.x.x-core-predeploy-k9.dmg」（バージョン等は随時変更されます）をダウンロードし、ダブルクリックして起動します。



「cisco-secure-client-x.x.x」が展開されます。

2. 展開された「cisco-secure-client-x.x.x」をダブルクリックします。



「cisco-secure-client-x.x.x」ウィンドウが表示されます。

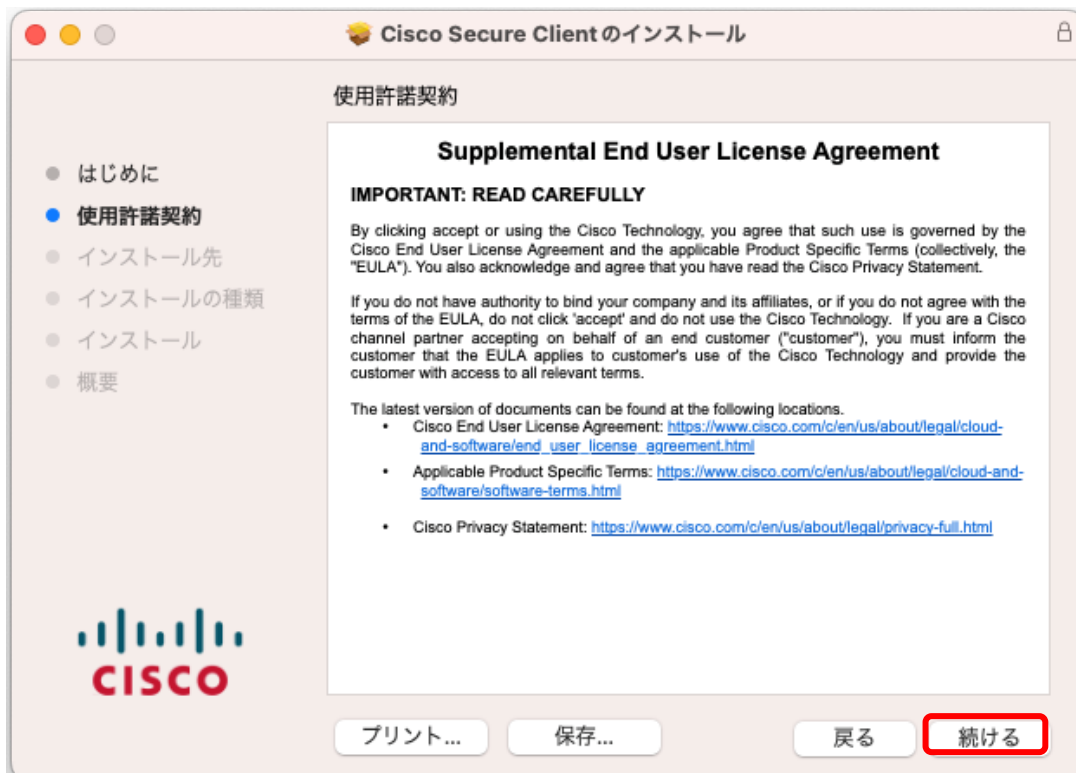
3. 「Cisco Secure Client.pkg」をクリックします。



4. Cisco Secure Client のインストールウィンドウが開き、「続ける」をクリックします。



5. 「使用特許契約」を確認し、「続ける」をクリックします。



「ソフトウェア使用許諾」の同意画面が表示されます。

6. 「同意する」をクリックします。



7. 下記の2つを選択し、「続ける」をクリックします。

- ・「Diagnostics and Reporting Tool」
 - ・「Umbrella」
- ※「Any Connect VPN」は自動でチェックされます。



8. 利用容量を確認し、「インストール」をクリックします。



9. 管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



インストール完了画面が表示されます。

10. 「インストールが完了しました。」と同時に以下が表示されます。
- ・「Cisco Secure Client セキュアモビリティクライアント通知」
 - ・「機能拡張がブロックされました」

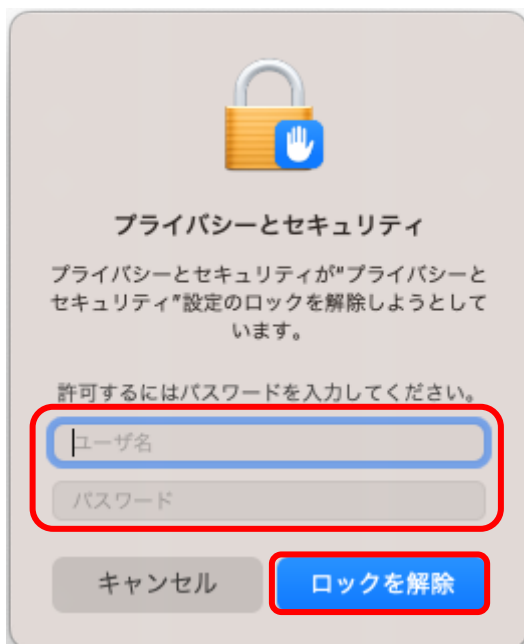
「Cisco Secure Client セキュアモビリティクライアント通知」の下部「設定を開く」をクリックします。



11. プライバシーとセキュリティが開き、画面下にスクロールしてセキュリティにある「App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」を選択し、「許可」をクリックします。



12. 管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力し、「ロックを解除」をクリックします。



13. ネットワークコンテンツのフィルタリングで「許可」をクリックします。



14. 「システム拡張が有効」が表示されましたら「解放」をクリックします。



15. インストール画面の「閉じる」をクリックします。

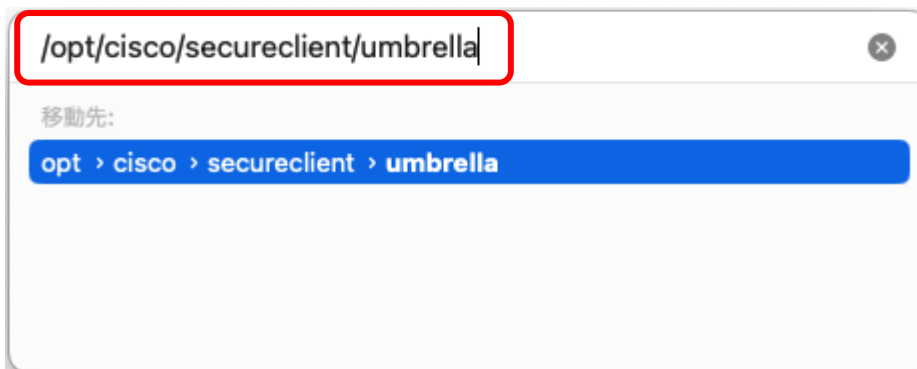


4-3 Umbrella モジュールの有効化

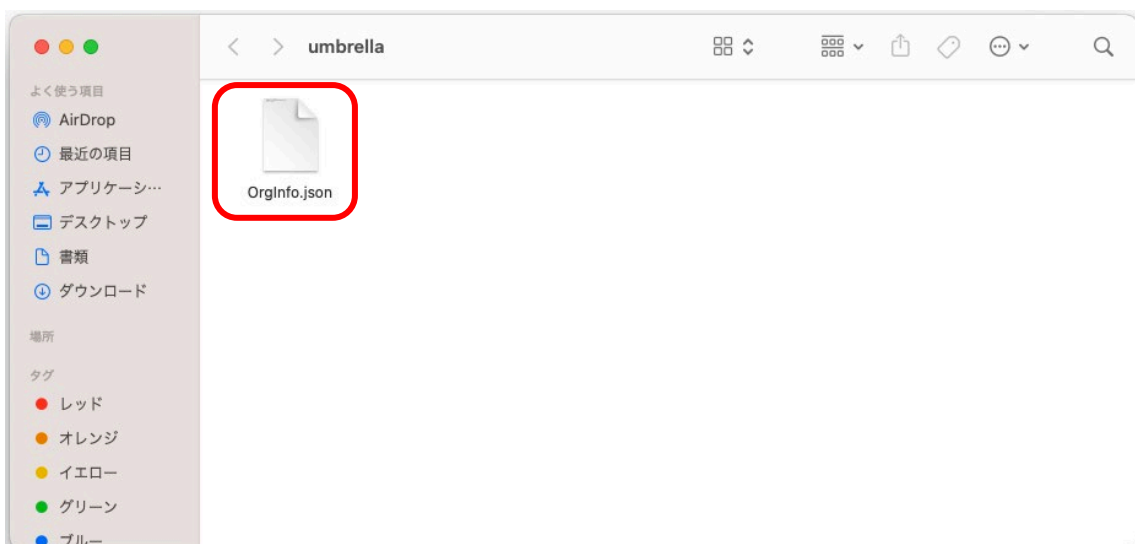
1. 管理者さまの作業が完了すると、管理者さまからプロファイルが共有されます。



2. メニューバーより「移動」>「フォルダへ移動」の順にクリックします。
3. 移動先に「/opt/cisco/secureclient/umbrella」と入力し、フォルダを開きます。



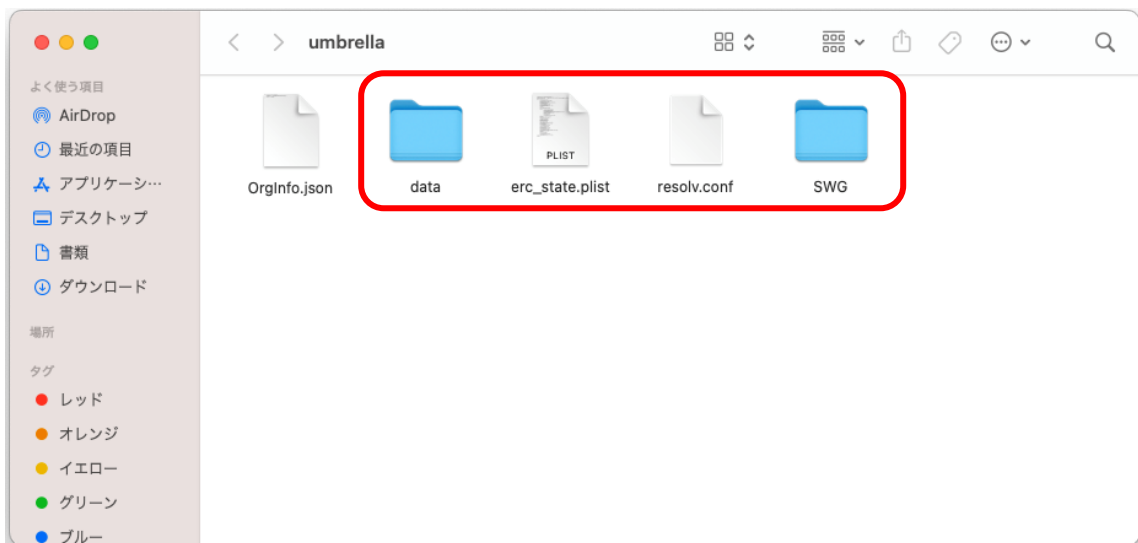
4. 管理者さまから送付されたプロファイルを開いたフォルダに保存します。



5. ファイル移動を許可するために管理者権限のユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



6. プロファイルを保存すると自動的にフォルダやファイルが作成されます。

**重要**

- プロファイル保存後、自動的にフォルダが作成されない場合は保存先が間違っていないか、プロファイルが正しいファイルかご確認ください。

7. Launchpad から「Cisco Secure Client」を起動します。



8. Umbrella のメッセージに「Umbrella はアクティブ状態です。」と表示されていることを確認します。



以上で、Umbrella モジュールの有効化は完了です。

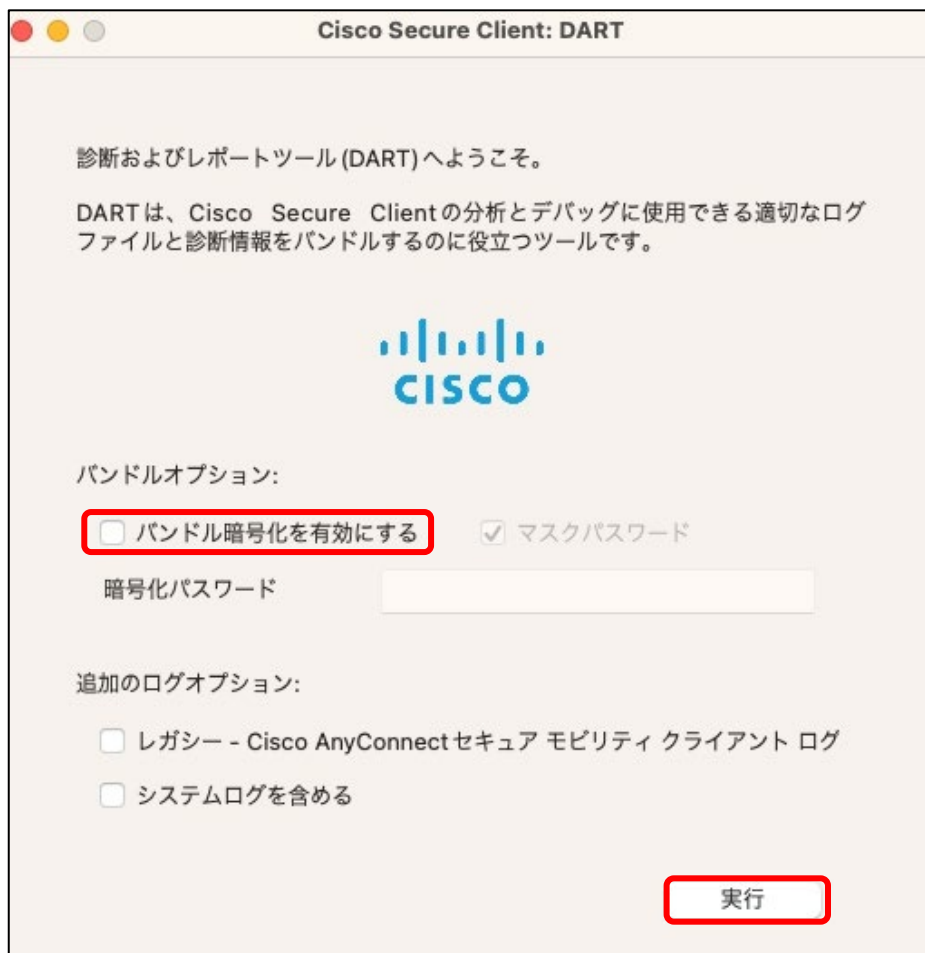
4-4 DART ファイル取得

トラブルが発生した際、切り分けのため本手順により取得した DART ファイルをお送りいただく場合があります。

1. Launchpad から「Cisco Secure Client - DART」を起動します。



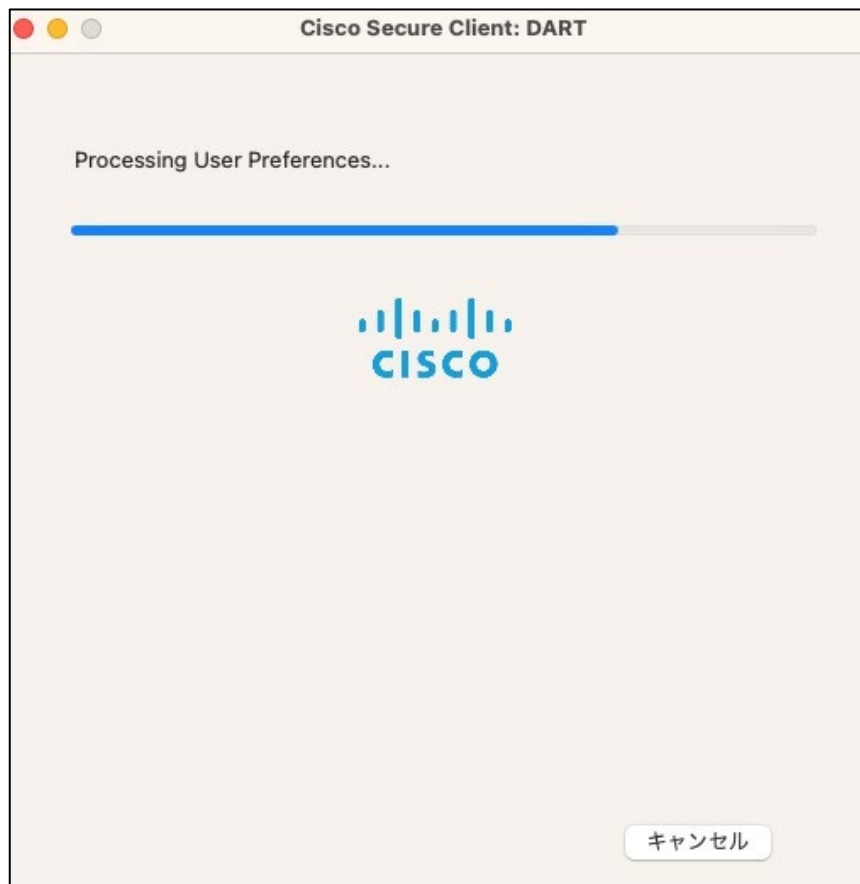
2. 「バンドル暗号化を有効にする」にチェックが入っていないことを確認のうえ、「実行」をクリックします。



3. 管理者権限を持つユーザとパスワードを入力し、「ヘルパーをインストール」をクリックします。



4. 以下の画面が表示されますのでしばらくお待ちください。

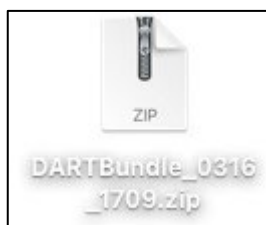


ソフトウェア使用許諾の同意画面が表示されます。

5. 「完了」をクリックします。



6. デスクトップ上にファイルが作成されます。



以上で、DART ファイル取得は完了です。